

第10 動力消防ポンプ設備

(令第20条関係，昭47.3.29消防予第74号)

1 設置場所

動力消防ポンプ（消防ポンプ自動車又は自動車によって牽引されるものを除く。）は，設置する水源ごとに，雨水等の影響を受けるおそれのない場所に設けること。

2 性能

令第20条第3項に規定する放水量は，「動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令」（昭和61年10月自治省令第24号）の別表に定める規格放水性能における規格放水量とすること。

3 水源

水源の有効水量の算定は，次によること。

(1) 雑用水等の水源と併用する場合は，第2 屋内消火栓設備 2，(4)，イを準用すること。

なお，他の消防用設備等の水源とは併用しないこと。

(2) 地盤面下に設ける場合は，地盤面の高さから4.5m以内の範囲を有効水量とすること。

(3) 水源は，常時有効水量を貯えることができ，かつ，規格放水量が連続して取水できるものとする。

4 器具

(1) 吸管は，前3の有効水量が取水できる長さのものとする。

(2) ホースは，設置する動力消防ポンプ設備ごとに，防火対象物の各部分から水源に部署した動力消防ポンプまで容易に到達できる本数以上を設けること。

5 表示■

(1) 動力消防ポンプの設置場所は，当該ポンプの置き場である旨の表示をすること。

ただし，明らかに判断できる場合にあつては，この限りでない。

(2) 水源には，動力消防ポンプ用の水源である旨の表示をすること。